

南の風 For Junior 127

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

間が空きました。前号を思い出して読み進めてください。コーナーへのパスにおけるリプレイスです。

126号のリプレイスによるアライメントは、トップに3、左ウイングに5、左コーナーは1になります。2が右コーナーの4にパスを出したとします。2はパスを出した後ボールサイドカットします。リターンパスが来なければ、左コーナーに切れます。ここもリプレイスの動きの約束にしたがって、切れた2が左コーナーに、左コーナーの1が左ウイングに、左ウイングの3がトップに動きます。

このように、トップからウイングへ、ウイングからコーナーへのように上から下へパスがおこなわれて場合は、『ぐるっと回る』ようにリプレイスするのが基本になります。

但し、下から上(コーナーからウイング、ウイングからトップなど)にパスがされたとき(返しのパス)は、その後の動きが違ってきます。

例えば、右コーナーの4から右ウイングの2にパスされた場合は、4はパスの後ペイントを突くように押し込んで元に戻ります。逆サイドの1、5、3はそのまま動きません。また2からトップの3にパスが返されたときは、2は原則としてボールサイドカットをし、リターンパスが来なければ右コーナーに抜けます。右コーナーの4は右ウイングにリプレイスします。

原則として、『返しのパスがあったときは、ワンサイド(片方だけ)だけでリプレイス』して動きを完結します。

こうしてリプレイスの原則にしたがってプレーすると、ボールミートして空中でボールをキャッチした瞬間に、ディフェンスがずれていればドライブアタック、下がっていればシュートという攻め方ができます。そしてドライブからクローズアウトゲームに持ち込めば、いい5アウトモーションオフenseになると思います。

単純ですがパスしたら切れる、そしてリプレイス、リプレイスすることで陣形を保ちながらずれてきたところでミートしてドライブして行けば、マンツーマンディフェンスを攻める上では、よいモーションオフenseになります。

次にギャップの広げるためのオフボールスクリーンについて書きます。

①カールカット、②スリップ、③ブラースクリーンの3つです。

①のカールカットです。アライメントは同じです。まずトップの1が右ウイングの2にパスします。1はパスした後、逆サイドのウイング3のディフェンスにアウェースクリーンを掛けます。そのスクリーンを利用して、3が回り込むようにカールカットしてペイントに切り込みます。うまく掛ければ3はレイアップシュートに持ち込みます。3にパスが入らなかったとしても、ペイントにカットすること自体がそれだけでディフェンスを引き付けることになります。ですから5アウトの場合パスしたらアウェーにスクリーン行き、そのスクリーンをカールするように利用して、ペイントに侵入することが大事です。侵入すれば右コーナーの4のディフェンスは、反応して引き付けられます。すると当然4が空き、クローズアウトが発生しアドバンテージが取れます。

次号に続けます。